

目 次

I. 総括研究報告

慢性疼痛診療システムの均てん化と

痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究…………… 1

矢吹 省司

II. 分担研究報告

1. 慢性疼痛診療システムの均てん化と

痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究

国民への広報や医療者の教育、診療に役立つツールの開発分科会…………… 6

牛田 享宏

2. 慢性疼痛診療システムの均てん化と

痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………12

山下 敏彦

3. 仙腸関節痛患者におけるデンバー仙腸関節質問票を用いた機能評価の検討……………17

小澤 浩司

4. 慢性疼痛診療システムの均てん化と

痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………21

伊達 久

5. 慢性疼痛診療システムの均てん化と

痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………24

山口 重樹

6. 慢性疼痛診療システムの均てん化と

痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………30

大鳥 精司

7. 慢性疼痛診療システムの均てん化と

痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………33

倉田 二郎

8. 慢性疼痛診療ガイドラインの分担執筆

日本の地域高齢者における慢性運動器疼痛の記述疫学……………35

井関 雅子

9. 慢性疼痛診療システムの均てん化と

痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………39

加藤 実

10. 慢性疼痛診療システムの均てん化と

痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………	42
今村 佳樹	
1 1. 筋骨格系疼痛スクリーニング質問票（短縮版）の計量心理学的検討……………	45
松平 浩	
1 2. 慢性疼痛診療システムの均てん化と	
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………	50
小杉 志都子	
1 3. 慢性疼痛診療システムの均てん化と	
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………	52
北原 雅樹	
1 4. 慢性疼痛患者に対する認知行動療法に基づく	
「いきいきリハビリノート」による運動促進法に関する研究……………	55
木村 慎二	
1 5. 慢性疼痛診療システムの均てん化と	
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………	58
川口 善治	
1 6. 慢性疼痛診療システムの均てん化と	
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………	62
中村 裕之	
1 7. 慢性疼痛診療システムの均てん化と	
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………	73
杉浦 健之	
1 8. 慢性疼痛診療システムの均てん化と	
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………	75
青野 修一	
1 9. 慢性疼痛診療システムの均てん化と	
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………	78
丸山 一男	
2 0. 慢性疼痛診療システムの均てん化と	
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究	
～滋賀医科大学学際的痛み治療センターにおける慢性痛患者に対する集学的治療の活動報告～	
……………	81
福井 聖	
2 1. 慢性疼痛診療システムの均てん化と	
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………	96
松田 陽一	
2 2. 慢性疼痛診療システムの均てん化と	
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究……………	98

中塚 映政

- 2 3. 慢性疼痛診療システムの均てん化と  
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究…………… 102  
松原 貴子
- 2 4. 慢性疼痛診療システムの均てん化と  
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究…………… 109  
西田 圭一郎
- 2 5. 慢性疼痛診療システムの均てん化と  
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究…………… 111  
鈴木 秀典
- 2 6. 慢性疼痛診療システムの均てん化と  
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究…………… 114  
檜垣 暢宏
- 2 7. 慢性疼痛診療システムの立ち上げと  
痛みセンター診療データベースの活用による治療効果の評価…………… 116  
川崎 元敬
- 2 8. 慢性疼痛診療システムの均てん化と  
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究  
～慢性疼痛患者の苦悩と対人関係の質の評価に関する  
Pictorial Representation of Illness and Self Measure (PRISM)の有用性の検証～ ……119  
細井 昌子
- 2 9. 慢性疼痛診療システムの均てん化と  
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究…………… 128  
門司 晃
- 3 0. 慢性疼痛診療システムの均てん化と  
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究…………… 131  
池内 昌彦
- 3 1. 慢性疼痛診療システムの均てん化と  
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究…………… 133  
小幡 英章
- 3 3. 慢性疼痛診療システムの均てん化と  
痛みセンター診療データベースの活用による医療向上を目指す研究…………… 135  
二階堂 琢也

### III. 研究成果の刊行に関する一覧表

1. 書籍…………… 139
2. 雑誌…………… 142